

ベトナム溶接研究会第5回研究会 ウェビナー開催

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2020年10月28日(水)、本年2月のベトナム溶接研究会セミナー(ハノイ)に続き、第五回目の研究会をウェビナーとして開催しました。新型コロナウイルスの影響により、少し時間が空いての開催となりましたが、今回はウェビナー開催ということで日本、ホーチミン市、ハノイ市などから合計40名近い参加があり、オンラインのメリットを活かしたセミナーとなりました。

今回は本学から2名の講師が、溶接接合に関する分野での研究報告を行いました。

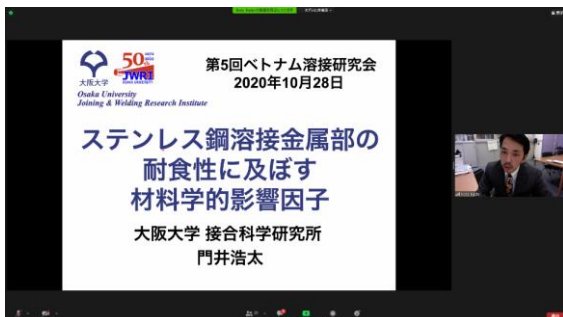
田中 学会長(接合科学研究所長)からの開会の挨拶に続き、一件目の講演は本学工学研究科マテリアル生産科学専攻の大畑 充教授より行われました。発表タイトルは「大規模地震下での溶接構造部材における延性亀裂進展予測シミュレーション」でした。二件目の講演は本学接合科学研究所の門井浩太准教授から行われ、発表タイトルは「溶接金属部の耐食性に及ぼす材料学的影響因子」でした。2件の講演はともに大学らしい大変学術的な見地からの研究であり、参加者からは、日常業

務においてなかなか聞くことのできない内容で大きな刺激となった、業務上扱っている金属に関して新しい知識を得ることができて勉強になった、などのフィードバックを頂戴しました。会の最後には当研究会副会長の Bui Van Hanh 准教授(ハノイ工科大学機械工学部溶接工学金属技術学科長)から閉会の言葉が述べられ、終了しました。

今回は新型コロナウイルスの影響により前回の開催から暫く時間が経ちましたが、各地から多くの方にご参加いただき、また、研究会を毎回心待ちにしているというコメントも頂戴し、新たな励みとなりました。

次回は来年2月にハノイ現地での開催を予定しています。状況が改善し、完全な開催が可能となることを期待しています。

この場をお借りし、同研究会の活動を支えている企業及び関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



左上：田中会長からの開会の挨拶

右上：講演する大畑教授

左下：講演する門井准教授